

心の輪12R



『娘のふるさと』という資料を通して、
「ふるさと」について考えを深めました！



ふるさととは、生まれ育った場所で、安心できる場所、心が落ち着く場所。また、生まれ育っていなくても、長年住んでいて、そこが自分の居場所だと思えて、周りの人と馴染んだりしている場所のことだと思う。

ふるさととは、生まれて育ったところ、思い出があるところ、家族が待っていてくれるところ、遠く離れると帰りたくなる場所だと思います。

ふるさととは、自分にとってたくさんの思い出があり、育ってきたところであり、これからも生きていき、安心できるし、戻って来たくなる場所だと思います。

ふるさととは、馴染みがあり、落ち着く場所だと思います。生まれ育った場所のにおいや風景は、誰でも落ち着くことのできるものだったからです。私もそんな気持ちになってみたいと思いました。

僕は、最初、ふるさととは自分の生まれ育ったところだと思っていたけど、引っ越しとかをして場所が変わっても、思い出とか楽しいことがあれば、『第2のふるさと』とか『心のふるさと』とかになれることが分かった。

『故郷』とは、自分を育ててくれたところだと思う。そして、そこに帰りたいたいと思えるような心温まる場所だと思う。帰ってきて両親や家族、昔の友達、懐かしい風景が見られるところ、全てが故郷だった。

「『ふるさと』とは何か？」というのは分からないけれど、大事なところ(?)なのかな？もう少し大人になったら分かると思います。何となくですけど、ふるさととは『歓迎してくれる人がいるところ』だと思います。



私のふるさと

毎日暮らしていると、そこにあるものが当たり前のように感じ、地域の良さを実感することは難しい。
しかし、改めて見つめ直してみると、自然、産業、伝統や文化、街並みやそこに暮らす人の思いなど、地域にはたくさんの魅力がある。

文部科学省資料
『私たちの道徳』P.201 より引用

message

メッセージ

帰る度、「変わってないねえ。」とうそぶいて、
変わっていたら、淋しくせに。

31歳・女性

早く出ていきたい。一人で生きて、そして、
いつか必ず帰ってくるんだ。

17歳・女性

何もない そう思ってた あの場所に
全てがあったと 知る今日この頃

17歳・男性

ふる里よ、ぼくは、君のことは、わからないけど、
君は、ぼくのことわかってるみたい。

13歳・男性

このままでいい このままがいい それだけでいい
私のふるさと

49歳・女性